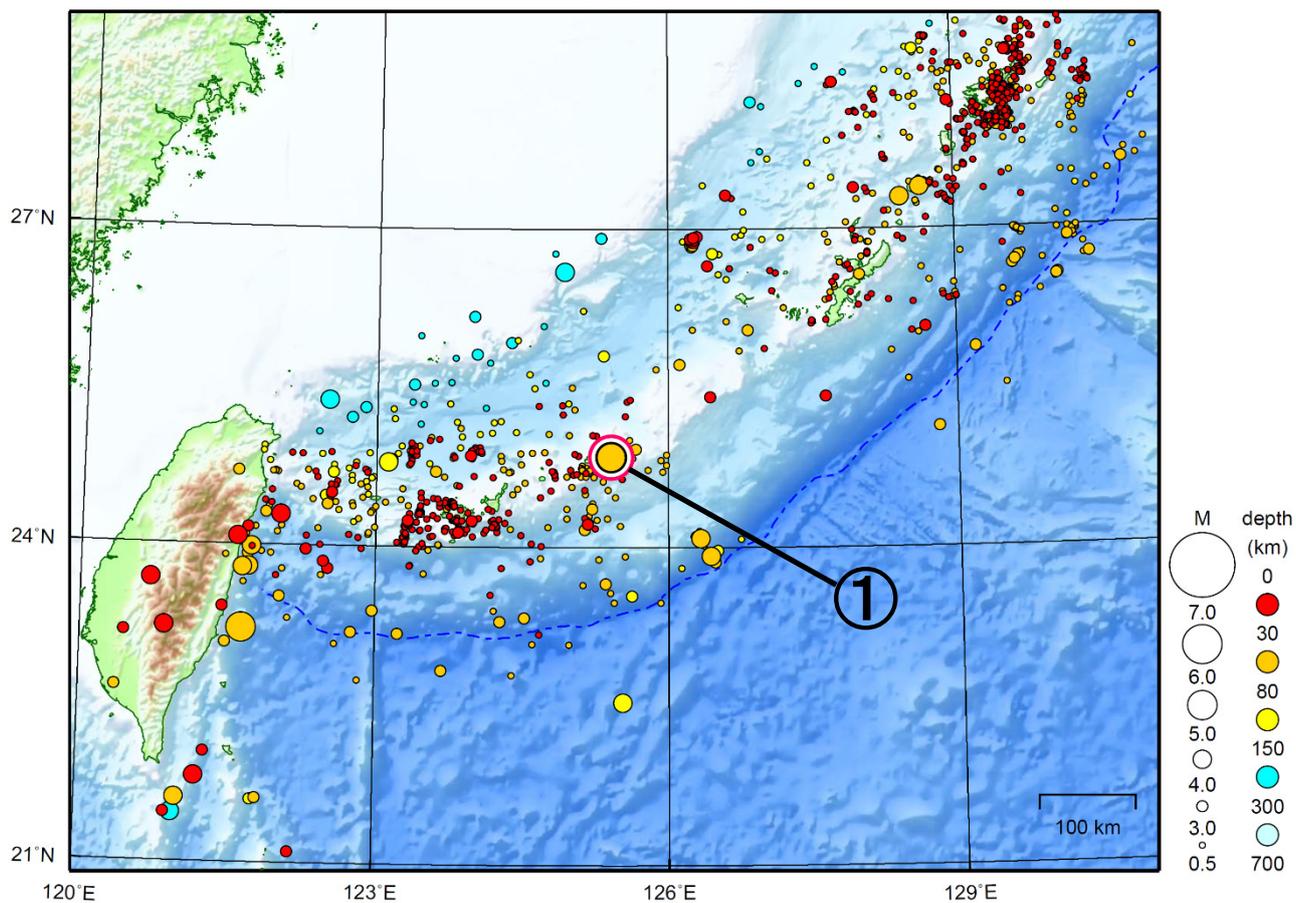


# 沖縄地方

2020/05/01 00:00 ~ 2020/05/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

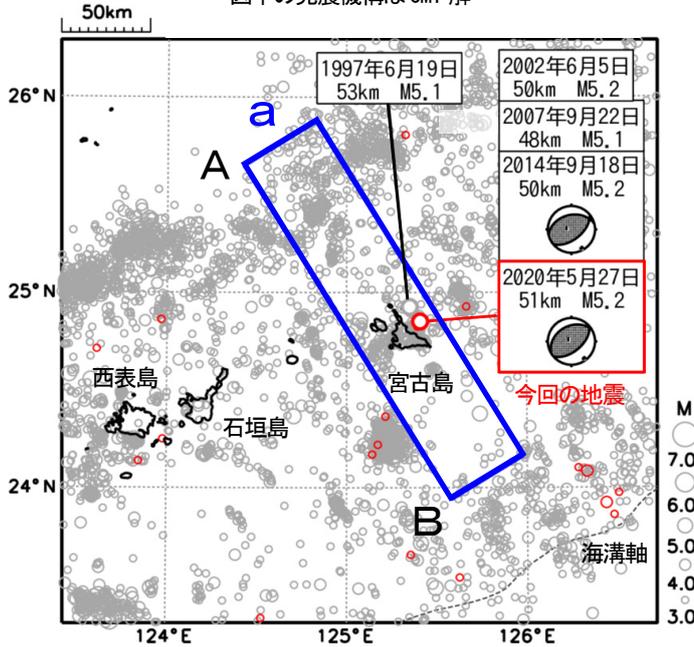
- ① 5月27日に宮古島近海でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 5月27日 宮古島近海の地震

震央分布図  
(1997年1月1日~2020年5月31日、  
深さ0km~150km、 $M \geq 3.0$ )  
2020年5月の地震を赤く表示  
図中の発震機構はCMT解

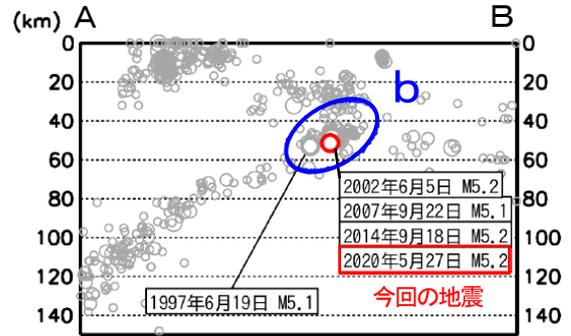


2020年5月27日18時19分に宮古島近海の深さ51kmでM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

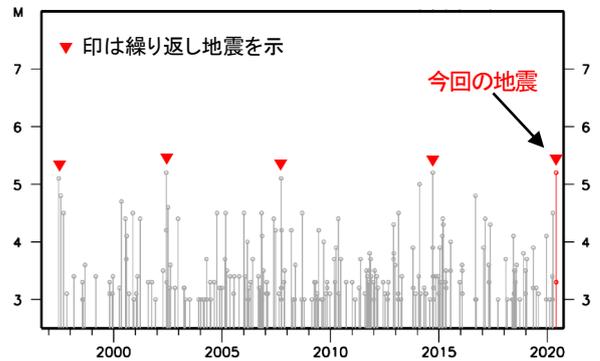
1997年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、今回の地震も含め、M5.1程度の地震が平均して6年間隔で発生している(繰り返し地震\*)。

\*繰り返し地震とは、発生場所や規模がほぼ同じでほぼ一定間隔で繰り返し発生している地震である。また、観測される地震波形も類似する特徴がある。

領域a内の断面図(A-B投影)

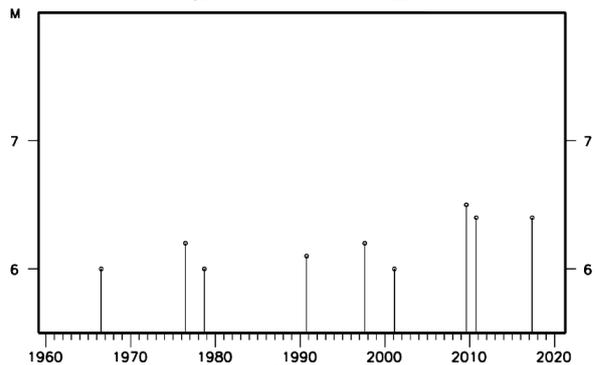


領域b内のM-T図



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、2009年8月5日にM6.5(最大震度4)の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

気象庁作成

震央分布図  
(1960年1月1日~2020年5月31日、  
深さ0km~150km、 $M \geq 6.0$ )

